

花き花木 植物成長調整剤一覽

2024年7月1日現在

作物名	薬剤名及び剤形	有効成分及び含有率 (%)	使用目的	使用方法		
キク	エスレル10 液剤	エテホン 10	開花抑制	全面散布(株全体がぬれる程度)		
	オキシベロン 液剤 粉剤	インドール酪酸 0.4 0.5	さし木の発根促進及び 発生根数の増加	さし穂基部浸漬 さし穂全体浸漬 さし穂基部粉衣		
	ジベレリン 水溶剤 液剤	ジベレリン 4.55、3.1 0.5、0.63	開花促進、草丈伸長促進	茎葉散布		
	ビーエー液剤 プレリュード液剤	ベンジルアミノプリン 3	親株栽培における側枝 への腋芽の着生促進	茎葉散布		
キク(電照栽培)	エスレル10 液剤	エテホン 10	早期不時発蕾防止	全面散布(株全体がぬれる程度)		
キク(ポットマム) (施設栽培)	キクエモン 水溶剤	ダミノジット 85	節間の伸長抑制	茎葉散布		
	ビーナイン 水溶剤	ダミノジット 80				
キク(ポットマム)	スミセブンP 液剤	ウニコナゾールP 0.025	節間の伸長抑制(矮化)	茎葉散布 土壌灌注		
キク(切花用) (施設栽培)	キクエモン 水溶剤	ダミノジット 85	節間の伸長抑制 花首の伸長抑制	茎葉散布		
	ビーナイン 水溶剤	ダミノジット 80				
カーネーション	オキシベロン 液剤 粉剤	インドール酪酸 0.4 0.5	さし木の発根促進及び 発生根数の増加	さし穂基部散布 さし穂基部浸漬 さし穂基部に粉衣		
花き類(リンドウを除く)	ジベレリン 水溶剤 液剤	ジベレリン 3.1、3.58、2.78 0.5、0.63	発芽促進	種子浸漬		
カラー	ジベレリン 水溶剤 液剤	ジベレリン 3.1、3.58、2.78、4.55 0.5、0.63	生育促進	茎葉散布、球根浸漬		
スパティフィラム			開花促進	茎葉散布		
トルコギキョウ			生育促進	茎葉散布		
アイリス			生育促進	球根浸漬		
サツキ (施設栽培苗)			茎の伸長促進 花芽分化の抑制	頂芽に十分散布		
ソリダゴ			生育促進	茎葉散布		
サクラ (切り枝促成栽培)			休眠打破による生育促進	切り枝浸漬 切り枝全面散布		
アザレア			開花促進	茎葉散布		
花き類			ジベレリン 水溶剤	ジベレリン 4.55	発芽促進	種子浸漬
アザレア(施設栽培)			ビーナイン 水溶剤	ダミノジット 80	節間の伸長抑制	茎葉散布
シクラメン	ジベレリン 水溶剤 液剤	ジベレリン 3.1、3.58、2.78 0.5、0.63	開花促進	花蕾を含む芽の中心部に散布		
プリムラ(マラコイデス)	ジベレリン 水溶剤 液剤	ジベレリン 3.1、3.58、2.78 0.5、0.63	開花促進	株の中心部に散布		
ミヤコワスレ	ジベレリン 水溶剤 液剤	ジベレリン 3.1、3.58、2.78 0.5、0.63	開花促進、草丈伸長促進	葉面散布 株浸漬		
シラン			生育促進、発芽促進	茎葉散布、切株散布 種子浸漬		
リンドウ			休眠打破	球根浸漬		
テッポウユリ (促成栽培)	ジベレリン 水溶剤 液剤	ジベレリン 3.1 0.5、0.63	休眠打破	球根浸漬		
チューリップ (促成栽培)	ジベレリン 水溶剤	ジベレリン 3.1	開花促進	筒状の葉の中心部に滴下		
	ジベレリン 液剤	ジベレリン 0.5、0.63	花丈伸長促進及び茎の 肥大促進	ホルカルフェニロン液に加用 葉筒内に滴下		
			開花促進	筒状の葉の中心部に滴下		
チューリップ	オキシベロン 液剤	インドール酪酸 0.4	花茎基部の伸長	葉間に滴下		

ポインセチア	スミセブンP 液剤	ウニコナゾールP 0.025	節間の伸長抑制(矮化)	茎葉散布
ポインセチア (施設栽培)	ビーナイン 水溶剤	ダミノジット 80	節間の伸長抑制	茎葉散布
パンジー (施設栽培)				
ハボタン(施設栽培)				
ペチュニア (施設栽培)				
アサガオ(施設栽培)				
ハイドラングア (施設栽培)				
ジャクナゲ (施設栽培)	ビーナイン 水溶剤	ダミノジット 80	節間の伸長抑制 着蕾数増加	茎葉散布
シクラメン (施設栽培)	ビーナイン 水溶剤	ダミノジット 80	花梗・葉柄の伸長抑制	茎葉散布
	キクエモン 水溶剤	ダミノジット 85		
ホオズキ	エスレル10 液剤	エテホン 10	着色促進	果実散布(果面がぬれる程度)
ツツジ類(鉢栽培)	スミセブンP 液剤	ウニコナゾールP 0.025	節間の伸長抑制(矮化) および着蕾数増加	茎葉散布
イヌツゲ	オキシベロン 液剤 粉剤	インドール酪酸 0.4 0.5	さし木の発根促進及び 発生根数の増加	さし穂基部浸漬
ツツジ類	オキシベロン 液剤 粉剤	インドール酪酸 0.4 0.5		
キンボウジュ カイツカイブキ ドウダンツツジ ヒマラヤシダー 樹木類(スギ、ヒノキ、イヌ ツゲ、カイツカイブキ、キンボウ ジュ、ツツジ類、ドウダンツ ツジ、ヒマラヤシダーを除く) 花き類・観葉植物 (カーネーション、キク及びチュ ーリップを除く)	オキシベロン 液剤	インドール酪酸 0.4		
ヤマモモ(緑化木) アベリア トウカエデ イヌツゲ 樹木類	バウンティフロアブル	パクロブトラゾール 21.5	新梢伸長抑制及び整 枝・剪定軽減	土壌灌注
花き(キク、ゼラニウム等)	ルートン	1-ナフチルアセトアミド 0.4	新梢伸長抑制及び整 枝・刈込・剪定軽減	茎葉散布
庭園樹(マサキ、ジンチョウ ゲ、アサギ等)			挿木(挿苗)時処理し て発根を促進する	1)挿木(挿苗)の基部を3cmぐ らい水にひたしその部分にう すい層になって付着する程度 に粉のまままぶす。 2)或いは本剤を適量の水で ペースト状にねってから挿木 の切口にぬりつける。日陰干 燥してから挿す。この場合挿 木(挿苗)にあまり多量に厚く 塗布しないようにすること。上 記の方法で処理し挿しおわ ったら周囲に土をかけてよく固 めておくこと。
林木(スギ、ヒノキ、マツコイ ヤ等)				

注) 上記の薬剤を使用する際は、必ず薬剤の使用方法を確認の上、ご使用ください。